



®環境省
エコアクション21
認証番号0008449

エコアクション21 環境経営レポート

2023年度版

運用期間：2023年4月～2024年3月



2024年5月31日発行

清興建設株式会社



目次

1. 組織の概要	1
2. エコアクション21の対象範囲	4
3. 環境経営方針	5
4. 環境経営目標	6
5. 環境経営計画	7
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	9
<参考資料> 当社の環境への取組の足跡（CO ₂ 排出量の推移）	15
7. 環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況 の取組結果とその評価	16
8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	18
9. 環境関連法規等の遵守状況	20
10. 代表者の全体評価と見直し結果	20



1.組織の概要

1-1. 組織の概要

- (1) 事業者名及び代表者 清興建設株式会社 代表取締役 原田 信一
- (2) 所在地 (本社) 福岡市南区松原7丁目40番5号
(資材置場・作業所) 福岡市早良区梅林7丁目15番6号

(3) 環境管理責任者・連絡先

環境管理責任者： 代表取締役 原田 信一
連絡先： TEL 092-512-0161
FAX 092-512-3325
E-mail seikou-ken@juno.ocn.ne.jp
URL <http://fukuoka-seikou.com/>

(4) 事業規模

資本金： 2,500万円

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	307	220	273
従業員数	人	5	5	6
床面積 (本社事務所)	m ²	117	117	117
(資材置場・作業所)	m ²	436	436	436

- (5) 事業内容 建築工事業(公共工事・ビル・工場・マンション・住宅・リフォーム)
福岡県知事許可(特-03) 第14548号
- (6) 事業年度 4月 ~ 翌年3月
- (7) 法人設立年月日 1968年4月1日

1-2. 認証・登録の対象組織・活動

- (1) 対象組織 清興建設株式会社 本社、資材置場・作業所
- (2) 対象活動 建築工事業(木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造の新築工事及び改修工事)
- (3) 対象外組織 なし(全組織、全活動を対象とする)

主な事業

建築工事

公共工事・・・学校校舎の改修工事や内部改造、外壁塗装工事を受注しています。

民間工事・・・住宅新築工事・リフォーム工事、店舗改装や福祉移設、保育園等も手掛けています。

耐震診断・補強工事・・・木造戸建住宅の耐震補強工事を行っています。



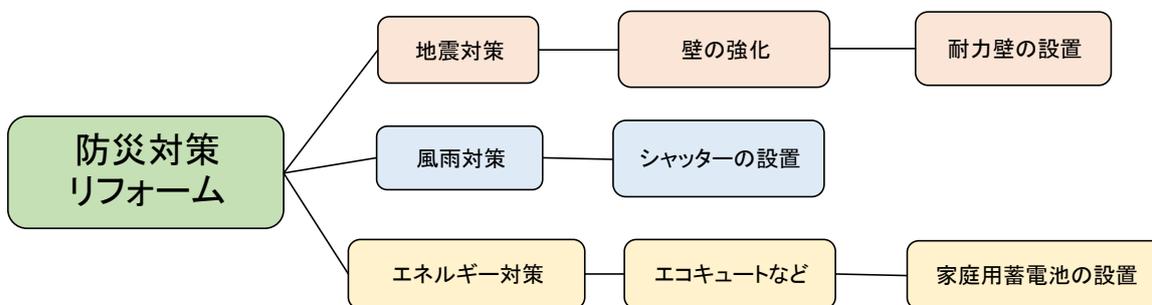
今年度は、1月に能登半島沖地震が発生し耐震診断が急激に増えました。

昭和56年5月31日以前の建物は耐震基準を満たしてないので、倒壊する危険があります。

その為福岡市では補助金を増額して1件でも多く補強工事が行えるよう広報し、近隣の市も耐震化を図るため補助金の上限額を上げて出しているところもあります。



福岡県内、市町村における地震の揺れやすさマップです。赤に近くなる程に揺れが激しくなります。



安心・安全な住まいづくりをサポートしています。国や市町村の補助金を活用してより良い住まいを提案します。

今年度は福岡市耐震推進協議会に寄せられた問い合わせが152件ございました。そのうち診断依頼が96件です。耐震診断についての関心が高く、より多くの方を診断して安心して過ごせるように補強提案をし、安全な生活が出来ますよう尽力しています。



広報活動



今年度は3ヶ所でセミナーを行いました。木造の構造レプリカを使い地震の時にどのように揺れるのか、どのくらいの震度で倒壊するのかを実演しています。セミナーに参加されている方々に実際に見て頂き、耐震の重要性を語っています。



築年数による耐震基準

- 旧耐震基準 { 1950年(昭和25年)建築基準法制定
1971年(昭和46年)法改正...コンクリート基礎を規定
- 新耐震基準 1981年(昭和56年)法改正...壁の量を強化
- 現行の耐震基 2000年(平成12年)法改正...接合金物と壁のバランスを規定

旧耐震基準の建物は基準を満たしていないので注意が必要です。2000年(平成12年6月)の現行耐震基準になり、2000年5月以前の住宅は現行の耐震性を満たしていない場合も多いのです。これを参考に、新築年を確認されたらよろしいかと思います。

★ふくおか共創パートナー企業に登録しました。

地域を盛り上げ”住みたいまち”暮らしやすいまち”づくりを目指し、地域貢献活動企業として自社は公園の清掃で貢献し、暮らしやすいまちづくりを目指していきます。

～代表者の挨拶～

会社の設立は昭和43年先代が立上げ、早54年となりました。宮大工であった先代は社寺建築をはじめ、さまざまな建築工事に携わり、幅を広げ今に至ります。また、福岡の西方沖地震をきっかけに、耐震工事の重要性を感じ、福岡市耐震推進協議会に加盟し、多くの診断・工事を行ってきました。診断だけ行う時もあれば、何年か後に『やっぱり地震が怖いので工事をお願いしたい』という工事依頼もあります。日本は地震国であり、メディアでは地震期に入ったとも伝えられています。家族の命、自分の命、建物の寿命、環境の保全、さまざまな観点からも重要であることが分かります。地震が起きても命の確保、倒壊を免れる家が増えるよう活動を続けて参ります。

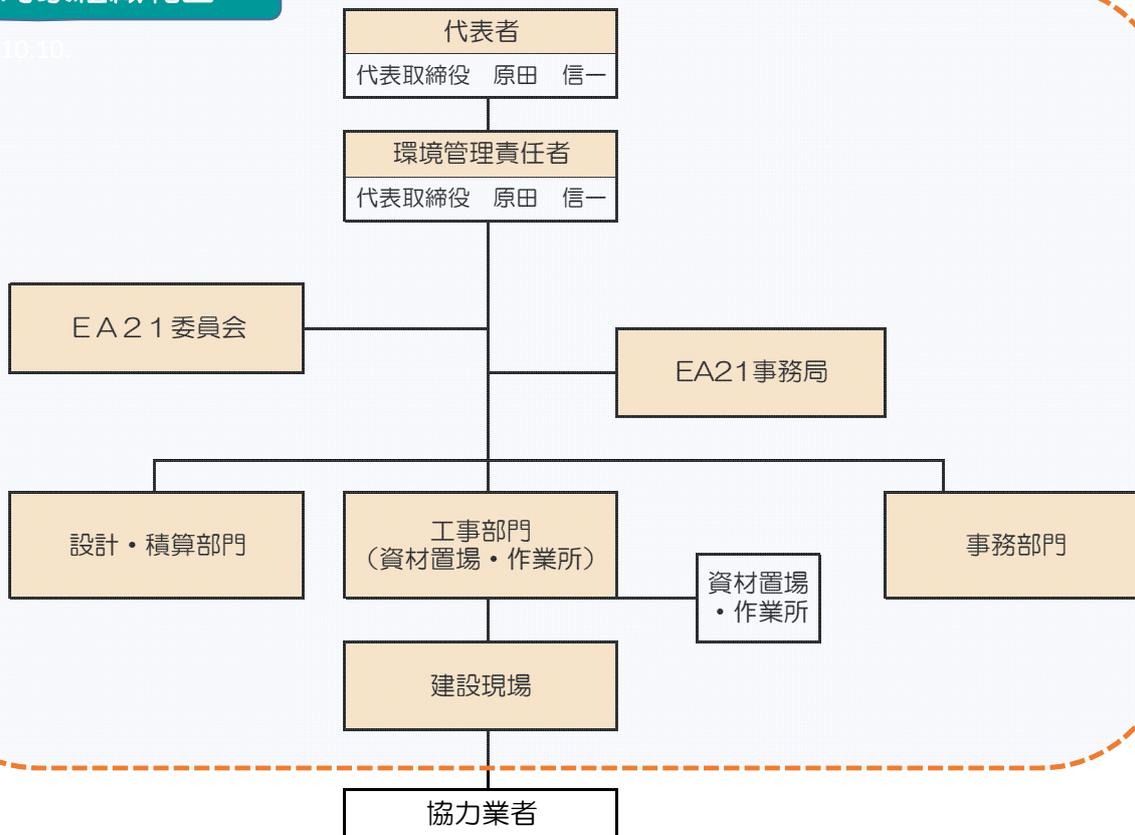
また、エコアクション21では、SDGsの17のゴールを目指し、我が社も出来る事から取り組んでいます。取組から12年、始めた当初より二酸化炭素排出量は半分以下になりました。年度によっては目標より超えることもあります。常に意識をすること、SDGsを踏まえて活動することで少しでもゴールが見えるよう努力したい。地域貢献活動では色々な方々と接点を持ち、情報を広げ、実りある環境経営が出来ます様、努力を続けていきます。

清興建設株式会社
代表取締役 原田信一

2.エコアクション21の対象範囲

対象組織範囲

10.10.10



役割分担表

所 属	役割・責任・権限
代表取締役 環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> • 全体の統括、経営における課題とチャンスの明確化、環境方針の設定、環境への取組を実施するための人とお金の準備、全体の評価と見直し • 全体の把握/環境管理責任者、環境経営システムを構築と運用 • EA21文書及び・維持・管理
設計・積算部門	<ul style="list-style-type: none"> • 電力、水消費量の管理 • 省エネルギー住宅、耐震補強の推進・提案 • 車燃料(ガソリン、軽油)、灯油消費量管理 • 地域ボランティア活動
工事部門	<ul style="list-style-type: none"> • 廃棄物の排出量管理
事務部門	<ul style="list-style-type: none"> • 空調温度管理 • 節水
事務部門	<ul style="list-style-type: none"> • 水使用量の記録 • 電気使用量の記録
事務部門	<ul style="list-style-type: none"> • 分別回収と排出 • 裏紙利用 • フロン排出抑制法に伴う簡易点検及び事務所活動での排出ごみ量計測
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> • 月に1回、第2金曜日の工程会議後に委員会を開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する。 • 問題点が発生した場合は必要な是正処置を検討、実施する
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 委員会資料の作成 • EA21文書及び記録類の作成・維持・管理 • データの集計、取組記録(S-12)についての問題提議
建設現場 ※現場代理人	<ul style="list-style-type: none"> • 電力、水消費量の管理 • 化学物質の適正な把握 • 車燃料(ガソリン、軽油)、灯油消費量管理
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> • 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する • 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

3. 環境経営方針

【基本環境理念】

弊社は、建築工事業において生ずる環境への影響を考慮し、現在の環境を『未来からのあずかりもの』としてとらえ、次の世代に引き継げるよう、事業活動の環境負荷軽減に取り組みます。また、建物の長寿命化を目標とし、耐震補強の普及や資源を有効に活用できるよう積極的に取り組みます。

【環境活動方針】

環境理念の下、以下の取組を重点項目と定め全社員で構築した環境経営システムを運用し、適時見直しを行い、SDGsを踏まえ環境経営の継続的改善に努めます。

1. 電力、燃料消費量の抑制により二酸化炭素排出量削減に取り組みます。
2. 廃棄物排出量削減のため、分別を積極的に行い、リサイクルを推進します。
3. 節水に努めます。
4. 化学物質の内容把握に努め、適正な使用を行います。
5. 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事を推進します。
6. 地域貢献活動及びボランティア活動を行ないます。
7. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。
8. 環境経営活動レポートを作成し、公表します。



制定日 2011年10月1日

改定日 2021年4月1日

清興建設株式会社
代表取締役 原田 信一

4. 環境経営目標

- 環境経営目標は、本社（事務所）と資材置場・作業所及び建設現場の2つのサイトに区分して作成しました。以下のとおりです。
- エコアクション21の環境への取組では22年度に比べて削減目標を達成出来ていることから中、長期目標として0.5%ずつ削減しています。
- なお、次期中長期目標策定にあたっては、経営課題の改善状況（人材確保、省エネ住宅の顧客、ニーズの変化等）やハード対策（特に設備更新）を踏まえて、更なる改善につながる目標を検討していきます。

環境経営目標		単位	基準年	単年度目標	中長期目標		
			2022年度 (実績値)	2023年度	2024年度	2025年度	
本社 (事務所)	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	7,683	7,567 1.5 %削減	7,529 2.0 %削減	7,490 2.5 %削減
		1-1.電気使用量の削減	kWh	5,354	5,273 1.5 %削減	5,246 2.0 %削減	5,220 2.5 %削減
		1-2.ガソリン使用量の削減	ℓ	2,215	2,181 1.5 %削減	2,170 2.0 %削減	2,159 2.5 %削減
	2	水使用量(給水量)の削減	m ³	72	節水に努める		
	3	廃棄物(一般廃棄物)の削減	kg	233	229 1.5 %削減	228 2.0 %削減	227 2.5 %削減
	4	省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進	件	18	15	15	15
5	地域貢献活動及びボランティア活動への参加	件	9	6	6	6	
資材置場・ 作業所 及び 建設現場	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	3,143	3,095 1.5 %削減	3,080 2.0 %削減	3,064 2.5 %削減
		1-1.電気使用量の削減	kWh	463	456 1.5 %削減	454 2.0 %削減	451 2.5 %削減
		1-2.ガソリン使用量の削減	ℓ	1,168	1,150 1.5 %削減	1,144 2.0 %削減	1,138 2.5 %削減
		1-3.軽油使用量の削減	ℓ	82.0	80.8 1.5 %削減	80.4 2.0 %削減	80.0 2.5 %削減
	2	リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する	% (再資源化率)	69.0	70	70	70
	3	水使用量(給水量)の削減	m ³	7	節水に努める		
	4	化学物質の適正な管理	-	-	化学物質使用量の把握とSDSIによる適正管理を行う		

備考) ・二酸化炭素排出量の購入電力については、九州電力㈱の2022年度調整後排出係数(0.475kg-CO₂/kWh)を用いて算出した。

- ・ () は基準年の削減率を示す
- ・ 計画に不都合があれば毎年見直す

5. 環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、本社(事務所)と資材置場・作業所及び建設現場で具体的な活動項目と責任者を決めて、以下の取組を行いました。

5-1 本社(事務所)

(1) 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	活動項目	関連SDG s
① 電気使用量の削減	照明の管理徹底(使用していない部屋及び休憩時の消灯) 空調の適温化(暖房20度、冷房28度) パソコン等の事務用機器の節電徹底 使用していない製品のコンセントを抜く クールビズ、ウオームビズの推進	  
② ガソリン使用量の削減	エコドライブの推進 アイドリングストップ タイヤの空気圧のチェック	  

(2) 水使用量(給水量)の削減

取組目標	活動項目	関連SDG s
① 節水に努める	蛇口はこまめに閉める(水の出っぱなしをやめる)	 

(3) 廃棄物(一般廃棄物)の削減

取組目標	活動項目	関連SDG s
① 一般廃棄物の削減	排出量の計測(現状の把握) 廃棄物の分別を決め、実行する 使用済み用紙の裏面利用	  

(4) 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進

取組目標	活動項目	関連SDG s
① 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進(15件/年)	太陽熱利用住宅(OMソーラーハウス)を推進する 木造住宅の耐震診断をして、補強工事を提案する	  

(5) 地域貢献活動及びボランティア活動への参加

取組目標	活動項目	関連SDG s
① 地域貢献活動及びボランティア活動への参加(6件/年)	地域の清掃活動に参加する 地域のお祭りで舞台を設営する 空き家パトロールへの参加(防災関連)	  

5-2 資材置場・作業所及び建設現場

(1) 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	活動項目	関連SDGs
① 電気使用量の削減	照明の管理徹底(作業していない場所及び休憩時の消灯)	7 再生可能エネルギー 11 持続可能な都市とコミュニティ
② ガソリン、軽油使用量の削減	段取りをよくし、無駄な移動をしない エコドライブの推進	13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを守ろう

(2) リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する

取組目標	活動項目	関連SDGs
① 産業廃棄物の再資源化	廃棄物の分別を徹底し、再資源化に努める 余分な材料を注文しない。 発注間違いをなくす。 産業廃棄物の適正処理(委託契約書・マニフェスト伝票)	9 産業と資源効率を高め、持続可能な消費を実現しよう 11 持続可能な都市とコミュニティ 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう

(3) 水使用量(給水量)の削減

取組目標	活動項目	関連SDGs
① 節水に努める	蛇口はこまめに閉める(水の出っぱなしをやめる)	6 安全な水とトイレを世界中に 13 気候変動に具体的な対策を

(4) 化学物質の適正な管理

取組目標	活動項目	関連SDGs
① 化学物質の適正な管理	安全データシート(SDS)を取り寄せる。 化学物質含有製品の把握 塗料・接着剤等使用時の製品の検討	3 健康な生活を 11 持続可能な都市とコミュニティ 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう



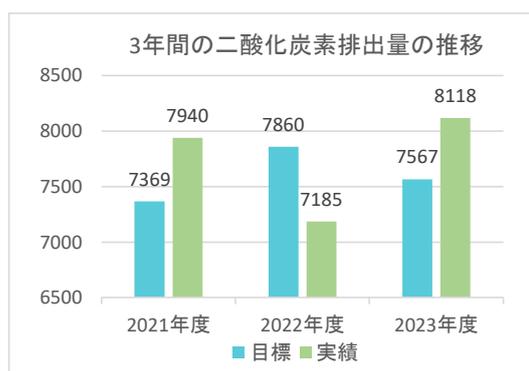
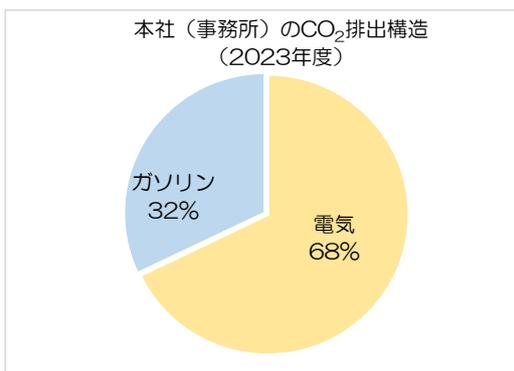
持続可能な17のゴールに向けて取組を進めていきたいと思いを

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

6-1 本社（事務所）

(1) 二酸化炭素排出量の削減

- 取組にあたっては当社の環境負荷特性を踏まえて、本社(事務所)と資材置場・作業所及び建設現場に分けて実施しました。
- 本社(事務所)の二酸化炭素排出構造は、電気使用量が約7割、ガソリンが約3割となっています。右側の二酸化炭素排出量の3年間の推移では今年には大幅に上回ってしまいました。
- 今年度も社内における啓発のメッセージにSDGsのサインを踏まえ掲示しました。



<電気使用量の削減>

活動項目	取組結果	SDGs
① 照明の管理徹底(使用していない部屋及び休憩時の消灯)	照明は勤務時間外はスイッチOFFにしています。	
② 空調の適温化(暖房20度、冷房28度)	WBGTを元に適切に使用した	
③ パソコン等の事務用機器の節電徹底(コンセントをこまめに抜く)	昼休みにはプリンターの電源OFF、パソコンはスリープ状態にしています。	
④ クールビズ、ウオームビズの推進	寒い時はひざ掛け等も使用し、暑い時はうちわも活用。	



エアコンの清掃中！



使わない時はOFFです



役に立ってます。

【担当者のコメント】

・気になるのは毎年夏の気温が高くなっている事。部屋の中でも熱中症にかかるので、適切なエアコンの使用が求められます。温暖化は進みたくない！けれど社員の体調管理も会社としては重要であって、温度の設定は悩めるところです。

<ガソリン使用量の削減>

活動項目		取組結果	SDG s
①	エコドライブの推進	SDG sのサインを車に掲示 タイヤの空気圧のチェックをする。	
②	アイドリングストップ	停車時はアイドリングストップ。	
③	エアコンの過度な使用を控える	暑い時は使用する。無理はしない。	
		<p>【担当者のコメント】 エコドライブを心掛けるように伝えていきます。 何かと忘れそうなので、視野に入るところに啓発の紙を貼って、意識するように心掛けました。 又、走行距離に応じてエンジンオイルの交換やタイヤの空気圧の点検を心掛けました。</p>	

(2) 水使用量（給水量）の削減

活動項目		取組結果	SDG s
①	蛇口はこまめに閉める(水の出っぱなしをやめる)	節水	
		<p>【担当者のコメント】 当社は井戸水を使用しているため、基本的には料金はかかりませんが、貴重な資源の無駄を無くすという意味での節水に取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花壇の花の水やり ・窓の清掃 ・井戸水を利用して車の洗車も行っています。 	

(3) 廃棄物（一般廃棄物）の削減

活動項目		取組結果	SDG s
①	排出量の計測（現状の把握）	毎回計測して出しています。	
②	廃棄物の分別を決め、実行する	雑誌や新聞紙、燃える紙ゴミ等分別しています	
③	使用済み用紙の裏面利用	自社で使う物、個人で使う物は裏紙を使用	
		<p>【担当者のコメント】 公共工事の仕事をしているときは図面の印刷や書類提出等で紙の使用が大幅に増えます。その反面A1やA2図面の失敗も出てくるわけで、そのような時はA4サイズに裁断して再利用に回しました。 また、開封した封筒も裏返しにして封筒を作ったり、メモサイズに切ってメモ用紙として利用しています。</p>	

(4) 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進

活動項目		取組結果	SDGs
①	太陽熱利用住宅（OMソーラーハウス）を推進する	OMソーラーに関する修理の問い合わせはあったが、新規はなかった。	
②	木造住宅の耐震診断をして、補強工事を提案する	大きな地震の後は診断の問い合わせが増えた	
		<p>【担当者のコメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギーの推進に関しては、今年度もゼロでした。 ・耐震工事は2件でしたが、来期の申請予約が10件ほどあるので、忙しくなりそうです。 ・会社の受付カウンターの上には耐震工事に関するパンフレットや省エネルギー関係の資料を置いてアピールしています。 	

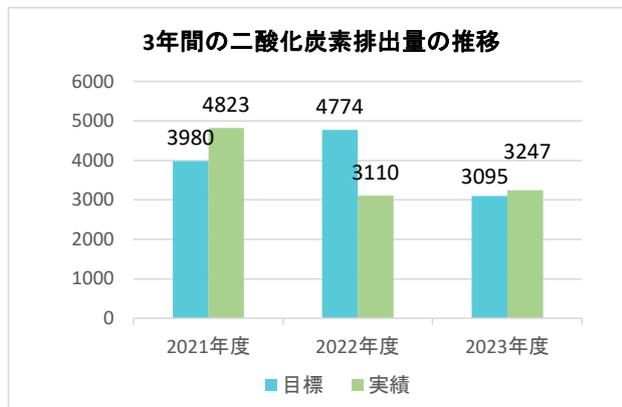
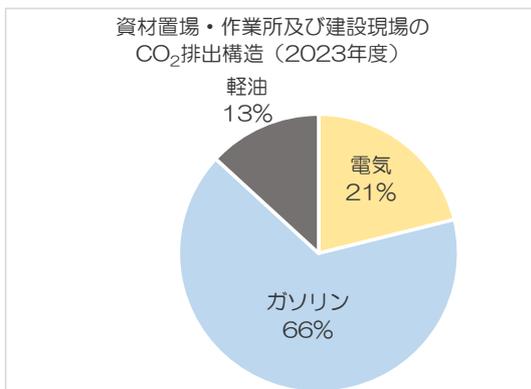
(5) 地域貢献活動及びボランティア活動への参加

活動項目		取組結果	SDGs
①	地域の清掃活動に参加する	地域の公園清掃と香椎宮の清掃に参加しました	
②	地域のお祭りで舞台を設営する	秋祭りに変更になり、舞台設置はいらなくなった。	
③	空き家パトロールへの参加（防災関連）	7月に大雨警報が出た時は防災機構の事務所にて連絡待機しました	
<p>地域の清掃活動</p> 		<p>箱崎宮清掃</p> 	
<p>空き家パトロール</p> 		<p>【担当者のコメント】 地域清掃は参加できる人が参加できる時に行っています。毎回全員が参加というわけにはいきませんが、社会貢献活動として成り立つように、このような参加制度をとっています。やはり夏場は、全身から汗が出て、きつかったです。清掃後の爽快感がたまりません。</p>	

6-2 資材置場・作業所及び建設現場

(1) 二酸化炭素排出量の削減

・資材置場、作業所及び建設現場の二酸化炭素排出量は電気が約2割,ガソリン・軽油が8割を占めています。



<電気使用量の削減>

活動項目	取組結果	SDGs
① 照明の管理徹底(作業していない場所及び休憩時の消灯)	照明は使用する場所のみ電灯管を取付て、それ以外の場所は電灯管を外しています。	7 再生可能エネルギー, 11 持続可能な都市とコミュニティ, 13 気候変動に具体的な対策を
		<p>【担当者のコメント】</p> <p>倉庫の作業場出入口には経営方針、今年度の環境経営計画、前年度の取組結果等を目につく所に掲示しています。常に見る事で意識をするようにしました。</p>

<ガソリン・軽油使用量の削減>

活動項目	取組結果	SDGs
① 段取りをよくし、無駄な移動をしない	現場に常駐することが多かったためそれほどではなかった。	7 再生可能エネルギー, 13 気候変動に具体的な対策を, 11 持続可能な都市とコミュニティ, 15 陸の豊かさへの責任
② エコドライブの推進	意識するようにはしていた。	
③ アイドリングストップ	なるべく長い時間の停車はしないようにはしていた。	
④ タイヤの空気圧の確認	2~3ヶ月に1度は点検した。	
		<p>【担当者のコメント】</p> <p>現場から現場への移動は、かなり長距離になることもしばしば、スピードを出しすぎないように気を付けたり、エンジンブレーキを利用したりしています。点検はエンジンオイルの交換であったり、空気圧を確認したりで車環境を整えています。</p>

(2) リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する

活動項目		取組結果	SDG s
①	廃棄物の分別を徹底し、再資源化に努める	現場ではコンテナに分かりやすく表示プレートを設置した	   
②	余分な材料を注文しない。	打合せを行い無駄はなかった。	
③	発注間違いをなくす。	発注間違いはなかった。	
④	産業廃棄物の適正処理（委託契約書・マニフェスト伝票）	適正に処理できた。	

現場で使用しているゴミ置き場	ゴミ回収中！
	
倉庫のゴミ置き場	【担当者のコメント】
 	<ul style="list-style-type: none"> ・無駄を無くし効率よく発注・使用することができたので、来期もこの調子で継続させていきたいです。 ・解体工事の際は産業廃棄物委託契約書を締結し、マニフェストの作成、発行、保存を適切に行い、返却されたマニフェストは現場ごとに保存しています。

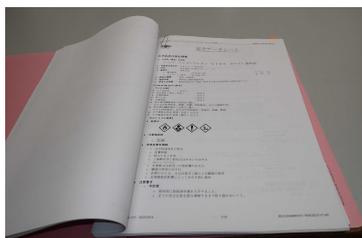
(3) 水使用量（給水量）の削減

活動項目		取組結果	SDG s
①	蛇口はこまめに閉める（水の出っぱなしをやめる）	取組はできた	 
			【担当者のコメント】
			<ul style="list-style-type: none"> ・節水の紙を貼って取り組んでいます。 ・屋外にあるので、洗車に使ったりもします。 ・こまめに止める事を意識して使用しました。

(4) 化学物質の適正な管理

活動項目	取組結果	SDG s
① 安全データシート（SDS）を取り寄せる。	塗装や接着剤等はSDSとりせ、適切に処理した。	
② 化学物質含有製品の把握	出荷証明書からKg数を計り化学物質含有量を計算しました。	
③ 塗料・接着剤等使用時の製品の検討	害の少ないもの等検討し使用しました。	

安全データシートファイルです。



【担当者のコメント】

・安全データシートは各現場ごとにファイルし保存しています。
 ・公共工事等、塗装工事を行う現場においては、安全データシートを取り寄せPRTR法に該当する場合は含有量を計算し記録し安全に使用することができました。

現場で使用している排水きよまるくんを利用し排水



・今回も塗装を使用する場面では、ノッチタンクに天然凝固剤を投入し分離させてpH値をみて排水しました。

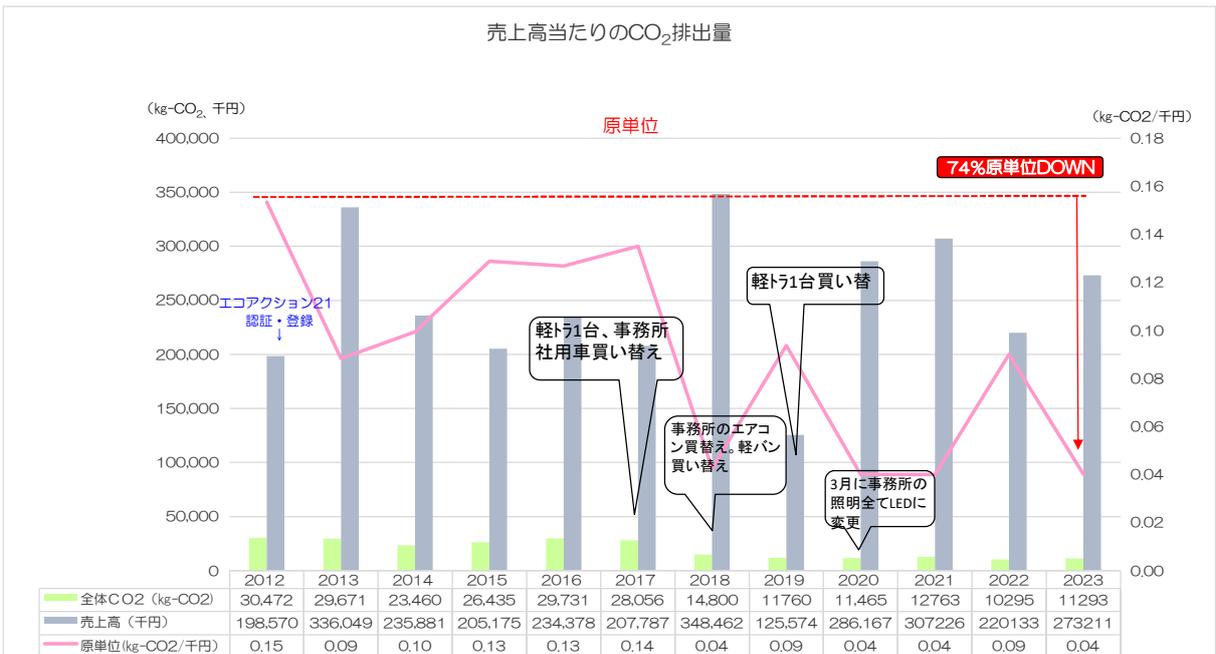
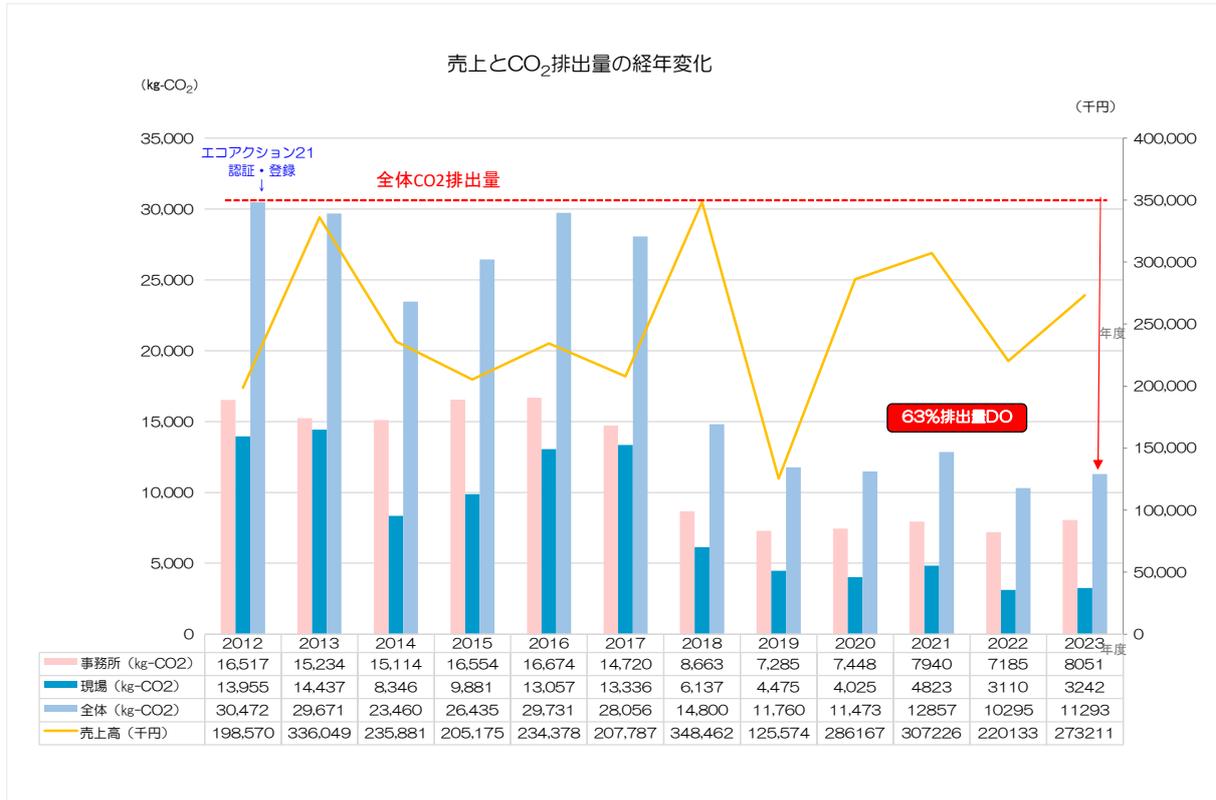
【現場の体調管理】

夏場における現場の体調管理ですが、年々暑さが厳しく、空調服が欠かせなくなりました。また、エアコンが効いている部屋から外に出たり入ったりを繰り返していると温度差で具合が悪くなったりもしますので、外気との温度差をあまり作らないように気を付けました。飲料水や塩飴を常備し、気温が高くなる夏の現場を乗り切ることができました。



当社の環境への取組の足跡（CO₂排出量の推移）

- ・ 本社（事務所）と資材置場・作業所及び建設現場におけるエコアクション21の認証・登録年度より現在に至る12年間の売上とCO₂排出量の経年変化と、売上高当たりのCO₂排出量（原単位）をグラフにしました。
- ・ この結果、エコアクション21認証登録時（2012年度）に対して、2023年度は売上が1.4倍弱増加となり、全体CO₂排出量は66%ダウンし、売上額当たりの排出量（原単位）も40%ダウンしました。当初のCO₂と見比べても削減は約1/3の値になっており、削減努力が実った形です。



7. 環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況の取組結果とその評価

- 環境経営目標は当社の事業活動を踏まえて、本社(事務所)で5項目7目標、資材置場・作業所及び建設現場で4項目7目標を設定しました。

【本社（事務所）】

- 本社（事務所）は二酸化炭素の排出量とガソリンが未達に終わりましたが、他では目標を達成し、取組も適切に実施できました。次年度は目標達成できるよう努力したい。

環境経営目標	単位	2023年度 (2023年4月～2024年3月)		目標達成率	目標達成状況	
		目標値	実績値			
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	7,567 (1.5%削減)	8,118	93%	△	
	1-1. 電気使用量の削減	kWh	5,273 (1.5%削減)	5,163	102%	○
	1-2. ガソリン使用量の削減	ℓ	2,181 (1.5%削減)	2,442	89%	△
2 水使用量(給水量)の削減	m ³	節水に努める (72)	節水に努めた (72)	100%	○	
3 廃棄物(一般廃棄物)の削減	kg	229 (1.5%削減)	180.5	127%	◎	
4 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進	件 (現場数)	15	30	200%	◎	
5 地域貢献活動及びボランティア活動への参加	回数	6	7	117%	○	

・目標達成状況区分 ◎：目標達成率120%以上 ○：100%以上120%未満 △：80%以上100%未満 ×80%未満 -：判定不可

取組目標	SDGsの関連	活動項目	実施状況
電気使用量の1%削減		照明の管理徹底(使用していない部屋及び休憩時の消灯)	◎
		空調の適温化(暖房20度、冷房28度)	△
		パソコン等の事務用機器の節電徹底 (使用していない製品のコンセントを抜く)	◎
		クールビズ・ウォームビズを励行し冷暖房使用を抑える	◎
ガソリン使用量の1%削減		エコドライブの推進	◎
		アイドリングストップ	◎
		エアコンの過度の使用を抑える	○
節水に努める		蛇口をこまめに閉める	◎
		洗車はバケツに水を入れて洗う	◎
リサイクル可能な一般廃棄物を分別回収する		排出量の計測(排出現状の把握)	◎
		廃棄物の分別を決め、実行する	◎
		使用済み用紙の裏面利用しリサイクル率を高める	◎
省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進		太陽熱利用住宅(OMソーラーハウス)を推進す	-
		木造住宅の耐震診断をして、補強工事を提案する	◎
地域貢献活動、ボランティア活動への参加		地域の清掃活動に参加する	◎
		地域のお祭りで舞台を設営する	-
		地域の空き家パトロールに参加する(防災関連)	◎

実施状況区分 ◎：良く実施されている(定着) ○：実施されている △：ほぼ実施されている ×：実施されていない -：判定不可

【資材置場・作業所及び建設現場】

- ・資材置場・作業所及び建設現場は、電気・ガソリン使用量、産業廃棄物の再資源化、化学物質管理と目標を達成しました。尚、軽油の使用と水使用量が目標未達成となりました。
- ・環境への取組については全て適切に実施されており、今後もこの取組を維持していきます。

環境経営目標		単位	2023年度 (2023年4月～2024年3月)		目標達成率	目標達成状況	
			目標値	実績値			
資材置場・ 作業所及び 建設現場	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	3,095 (1.5%削減)	3,247	95%	△
		1-1. 電気使用量の削減	kWh	456 (1.5%削減)	349	131%	◎
		1-2. ガソリン使用量の削減	ℓ	1,150 (1.5%削減)	1,087	106%	○
		1-3. 軽油使用量の削減	ℓ	81.1 (1.5%削減)	217	37%	×
	2	リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する	% (再資源化率)	70	72	103%	○
	3	水使用量(給水量)の削減	m ³	節水に努める (6.5)	9.0	72%	×
	4	化学物質の適正な管理	kg	把握と適正管理 に努める	把握と適正管理 を行った	-	◎

・目標達成状況区分 ◎：目標達成率120%以上 ○：100%以上120%未満 △：80%以上100%未満 ×80%未満 -：判定不可

取組目標	SDGsの関連	活動項目	達成状況
電気使用量の1%削減	  	照明の管理徹底(作業していない場所及び休憩時の消灯)	◎
ガソリン・軽油使用量の1%削減	   	段取りをよくし、無駄な移動をしない	◎
		アイドリングストップを励行する	○
		エコドライブの推進	◎
		タイヤの空気圧を確認する	○
リサイクル率を上げ、最終処分量を削減する	   	廃棄物の分別を徹底し、再資源化に努める	○
		余分な材料を注文しない(端材・部材の転用)	◎
		発注間違いをなくす	◎
		産業廃棄物の適正処理(委託契約書・マニフェスト伝票)	◎
節水に努める	 	蛇口はこまめに閉める(水の出っぱなしをやめる)	○
現場における化学物質含有製品と使用量確認	   	安全データシートの取り寄せ	◎
		化学物質含有製品の把握	◎
		塗料・接着剤等使用時の製品の検討	◎

実施状況区分 ◎：良く実施されている(定着) ○：実施されている △：ほぼ実施されている ×：実施されていない -：判定不可

8.次年度の環境経営目標と環境経営計画

- ・2023年度の運用成績を踏まえて、次年度の計画は以下のとおりとしました。

8-1 環境経営目標

- ・次年度は、当初策定していた中長期目標の適用を考えていましたが、今年度のコロナ渦でのボランティア活動機会の減少、資材置場・現場での作業量の増加の実績を踏まえて、当初の目標を見直し、次のとおりとしました。

環境経営目標	単位	基準年	単年度目標	中期目標			
		2022年度 (実績値)	2023年度	2024年度	2025年度		
本社 (事務所)	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	7,683	7,567 1.5 %削減	7,529 2.0 %削減	7,490 2.5 %削減
		1-1.電気使用量の削減	kWh	5,354	5,273 1.5 %削減	5,246 2.0 %削減	5,220 2.5 %削減
		1-2.ガソリン使用量の削減	ℓ	2,215	2,181 1.5 %削減	2,170 2.0 %削減	2,159 2.5 %削減
	2	水使用量(給水量)の削減	m ³	72	節水に努める		
	3	廃棄物(一般廃棄物)の削減	kg	233	229 1.5 %削減	228 2.0 %削減	227 2.5 %削減
	4	省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進	件 (耐震診断・補強工事)	18	15	15	15
5	地域貢献活動及びボランティア活動への参加	件	9	6	6	6	
資材置場・ 作業所及び 建設現場	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	3,143	3095 1.5 %削減	3080 2.0 %削減	3064 2.5 %削減
		1-1.電気使用量の削減	kWh	463	456 1.5 %削減	453 2.0 %削減	451 2.5 %削減
		1-2.ガソリン使用量の削減	ℓ	1,168	1,150 1.5 %削減	1,144 2.0 %削減	1,138 2.5 %削減
		1-3.軽油使用量の削減	ℓ	82.0	80.8 1.5 %削減	80.4 2.0 %削減	80.0 2.5 %削減
	2	リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する	% (再資源化率)	69	70	70	70
	3	水使用量(給水量)の削減	m ³	7	節水に努める		
	4	化学物質の適正な管理	-	-	化学物質使用量の把握とSDSによる適正管理を行う		

- 備考)
- ・二酸化炭素排出量の購入電力については、九州電力㈱の2022年度調整後排出係数(0.475kg-CO₂/kWh)を用いて算出した。
 - ・下段は基準年の削減率を示す
 - ・計画に不都合があれば毎年見直す

8-2 環境経営計画

・次年度の取組については、今年度を継続するものとし、サイト別に次のとおりとしました。

項 目		取組内容	本社 (事務所)	資材置場・ 作業所及び 建設現場	
二酸化炭素 排出量の 削減	電気使用量の削減	照明の管理徹底（使用していない部屋及び休憩時の消灯）	○	○	
		空調の適温化（暖房20度、冷房28度）	○		
		パソコン等の事務用機器の節電徹底	○		
		クールビズ、ウォームビズの推進	○		
	ガソリン・経由使用量の削減	エコドライブの推進	○		
		アイドリングストップ	○		
		タイヤの空気圧のチェック	○		
		段取りを良くし、無駄な移動をしない		○	
水使用量（給水量）の削減		蛇口はこまめに閉める（水の出っぱなしをやめる）	○	○	
廃棄物 排出量の 削減	一般廃棄物の削減	排出量の計測（現状の把握）	○		
		廃棄物の分別を決め、実行する	○		
		使用済み用紙の裏面利用	○		
	産業廃棄物の削減	廃棄物の分別を徹底し、再資源化に努める			○
		余分な材料を発注しない			○
		発注間違いをなくす			○
		産業廃棄物の適正処理（委託契約書・マニフェスト伝票）			○
	省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進		太陽熱利用住宅（OMソーラーハウス）の推進	○	
木造住宅の耐震診断をして、耐震補強工事を提案する			○		
地域貢献活動及びボランティア活動への参加		地域の清掃活動に参加する	○		
		地域のお祭りで舞台設置	○		
		空き家パトロールへの参加	○		
化学物質の適正な管理		安全データシートを取り寄せる		○	
		化学物質含有製品の把握		○	
		塗料・接着剤等、使用時の製品の検討		○	

9 環境関連法規の遵守状況並びに違反、訴訟等の有無

- ・2023年度の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、法令違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

法規・条例・規制	適用対象	摘要される項目	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物	委託契約	○
	産業廃棄物	マニフェスト交付・契約書保存	○
		年1回市への報告書提出	○
労働安全衛生法	石綿等（重量比0.1%超）	労働基準監督署に計画届提出	○
建設リサイクル法	解体工事	分別解体再資源化・届け出・報告	○
建築基準法	居室を有する建築物	材料クロルピリホスの使用禁止	○
		ホルムアルデヒドの制限	○
騒音規制法	杭打機・びょう打機・空気圧縮機を使用する作業	85dB以下	○
振動規制法	杭打機・びょう打機・プレカ-、舗装版破砕機を使用する作業	75dB以下	○
温暖化対策推進法	事業活動全般	温室ガス排出の抑制	○
		福岡県の政策に協力	○
化学物質管理促進法 (PRTR法)	建築材料	特定の化学物質の把握	○
		SDSを取り寄せる	○
大気汚染防止法	特定粉塵排出等に係る規則基準	特定建築材料除去作業に伴う調査説明	○
		実施の届け出・完了時の報告・保存	○
フロン排出抑制法	事業用エアコン	簡易点検の実施	○

・評価区分 ○：遵守 ×不遵守 -：該当なし

10.代表者による全体の評価と見直しの結果

- ・今年度は二酸化炭素削減の目標は未達に終わりました。引き続き目標達成を目指し取組に努める。
- ・産業廃棄物は何とか目標達成することが出来た。
- ・省エネ建築、耐震工事も目標達成となり、次年度への継続が望まれる。
- ・化学物質の安全データもきちんと取り寄せ、管理できていた。引き続き適切な管理に努めてもらいたい。
- ・地域ボランティア活動は目標達成出来、来年も積極的に関わっていきたい。

見直し項目	変更の必要性	評価
1 環境経営方針	有(無)	そのままでよい
2 環境経営目標	(有)・無	次年度削減目標を2.0%、翌々年を2.5%とする
3 環境経営計画	有(無)	そのままでよい
4 実施体制	(有)・無	工事部門に1名加入
5 環境関連法規等の取りまとめ	有(無)	そのままでよい
6 環境上の緊急事態への準備及び対応	有(無)	そのままでよい
7 環境関連文書及び記録の作成・管理	有(無)	そのままでよい
8 取組状況の確認、問題の是正・予防	有(無)	そのままでよい